

# くらしのなかで 楽しく・気軽に・おトクに CO<sub>2</sub>削減 始めてみませんか?

## 脱炭素社会って何?

地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出が、実質ゼロになる社会のことです。区では、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)2025を策定し、2025年度までにCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を2013年度比で30%削減、2050年度までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることを目標にしています。

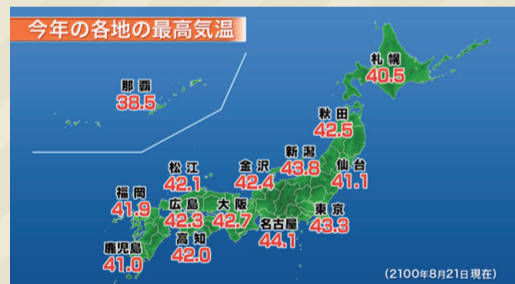
## CO<sub>2</sub>が増え続けるとどうなるの?

温室効果ガスの多くをCO<sub>2</sub>が占めており、CO<sub>2</sub>の増加は地球温暖化の大きな要因となります。地球温暖化は、①真夏日の日数が増える ②大型の台風やゲリラ豪雨が増える ③四季がなくなる など、私たちの生活に深刻な影響をもたらします。



## 2100年 未来の天気予報 (出典: 環境省 COOL CHOICE)

地球温暖化がこのまま進行した場合、次のような状況になると予想されています。



- 熱中症などの熱ストレスによる年間国内死者数 **1万5000人超**
- 年間猛暑日(最高気温35℃以上)予想 **東京で60日**
- 冬でも最高気温が**25℃超**、熱中症になる人が出る可能性がある

CO<sub>2</sub>の削減は私たちの日常的な取組の積み重ねで実現できます。区で行っている取組などを参考に、ぜひ一緒に始めてみませんか?

## 「いたばし環境アクションポイント事業」スタート

### 省エネ行動で商品券がもらえます!

省エネ機器の導入や省エネ行動により、前年と比較して電気・ガスのエネルギー使用量の削減を達成した際に、削減率に応じたポイントを付与します。

獲得したポイントは、1ポイント1円相当の区内共通商品券と交換できます(交換は500ポイント単位)。詳しくは、今後発行の「広報いたばし」・区ホームページなどでお知らせします。

問合せ 環境政策課脱炭素社会推進係 ☎3579-2622



参加登録申請受付 (6月上旬～10月末)

省エネ取組期間  
● 夏 期(8月または9月)  
● 中間 期(10月)  
● 冬 期(12月)

実績報告・ポイント付与 (来年1月上旬～2月末)

### ポイント獲得に役立ちます! ちょっとしたひと工夫でエコ&節約を実現

(出典: 資源エネルギー庁ホームページ)

#### ガス温水器の電源はこまめにOFF

家庭用機器の待機電力の機器別構成比で、最も比率が高いのはガス温水器で、テレビ・エアコン・電話機よりも待機電力を消費しています。ガス温水器を使用しないときは、こまめに電源を切りましょう。



#### 冷蔵庫を整理しましょう

庫内の食品類の量を半分程度にすると、たくさん詰め込んだ場合と比較して、年間でCO<sub>2</sub>を21.4kg削減、電気代約1180円の節約になります。さらに、設定温度を強から中に変えると、年間でCO<sub>2</sub>を30.1kg削減、電気代約1670円の節約にも。今すぐ冷蔵庫の中を確認してください。



準備を始めるなら今がおススメ! おうち時間が増えた今、ご家族でできる新たな取組としていかがですか?

## 猛暑をおトクに快適に

## ご自宅に「緑のカーテン」はいかがですか?



緑のカーテンは、つる性の植物(ゴーヤー・アサガオなど)を窓の外に這わせた植物のカーテンです。板橋区の緑のカーテンは、板橋第七小学校での取組がきっかけとなり、区内全域に広がっていきました。

### 省エネだけじゃない「緑のカーテン」

ゴーヤーは食材として、ヘチマはたわし・化粧水としてなど、日常生活で使えるものに生まれ変わります。



問合せ 環境政策課環境教育係 ☎3579-2233

### 緑のカーテン、虫対策は?

病害虫対策には、植物性の保護液・木酢液が効果的とされています。また、ゴーヤー・パッションフルーツは、虫がつきにくい植物といわれています。



緑のカーテンの育て方など詳しくはこちらから

### 体験者の声



「緑のカーテン講習会では植え付けと摘芯を実演しました。緑のある窓際は涼しげで、日々伸びる様子は活力になります。」(前野町在住 大野さん)



「自宅のベランダで、日々成長する様子に元気をもらいます。花や実を付けると益々愛着が湧き、子が育つような喜びです。」(成増在住 小野さん)



## 合言葉は「かたつむりのおやくそく」

## 身近にできることの積み重ねでエコを実現

ごみを減らすことも、CO<sub>2</sub>の削減につながります。不要なものを買わない、資源とごみを正しく分別することなどを日頃から心がけましょう。また、現在の日本では、毎日1人あたりお茶碗1杯分のご飯と同じ量の食品ロス(食べ残し・期限切れ食品など)を生み出しているといわれています。その多くは食べ残しによるもの。日頃から「もったいない」の気持ちを大切に、できることから取り組んで食品ロスを減らしましょう。



食品ロスの削減について



かたつむりのおやくそくについて

問合せ 資源循環推進課資源循環協働係 ☎3579-2258

- かたづけよう
- たいせつにつかう
- つかいきる
- むだにしない
- リサイクル



### 賞味期限と消費期限

賞味期限は、おいしく食べることができる期限です。→賞味期限が過ぎたからと言って、すぐに食べられなくなるわけではありません。調理方法を工夫するなど、捨てずに食べ切るようにしましょう。  
消費期限は、過ぎたら食べない方がよい期限です。→消費できる量を購入し、期限内に食べ切りましょう。

ただし、一度開封した食品は、期限に関わらず早めに食べ切りましょう。